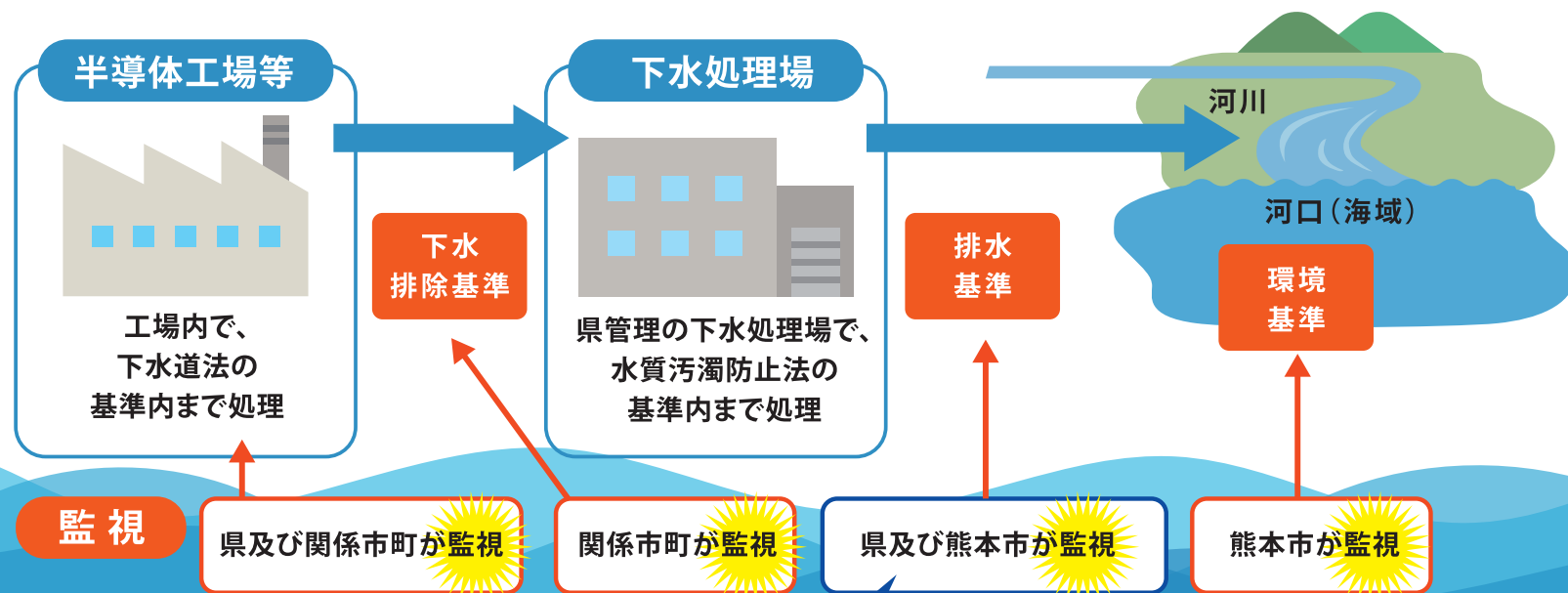


熊本の地下水や河川の水質は、半導体工場の本格稼働後に
多くの物質で明確な変化はなく、安心できる状況です！

工場排水は、県と関係市町が連携して **監視**

セミコンテクノパーク周辺の半導体工場等からの排水は、
工場内の排水処理施設で下水道法の基準内まで有害物質等を除去し、下水道に排出されます
下水処理場では、水質汚濁防止法の基準内まで汚れを除去し、河川に放流されます



下水処理場の放流水の水質検査結果はウェブページはこちらから

<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/104/189630.html>

熊本の地下水や河川の水質は、半導体工場の本格稼働後に 多くの物質で明確な変化はなく、安心できる状況です！

法令等で規制されていない物質もモニタリング

熊本県では、法令等で規制されている物質の監視に加え、他県に例を見ない、規制されていない物質(1万種類超)を対象にした環境モニタリングをセミコンテクノパーク周辺で行っています

モニタリングの結果は、**専門家で構成する委員会**で検証し、**次の意見**がありました

PFBS・PFBA以外の物質で明確な変化は確認されていない

この2物質についても、濃度は減少又は横ばいに転じており、これまでの濃度域では問題ないレベル

**安心できる
状況と考える**

※PFBS・PFBAの現状は次のページを確認してください

法規制物質

法規制外物質
追加モニタリング

金属類 : ガリウム等約20項目
化学物質 : 有機フッ素化合物 約250項目、
その他の化合物 約10,000項目
(スクリーニング調査)



令和7年10月31日熊本県地下水保全推進本部会議資料より

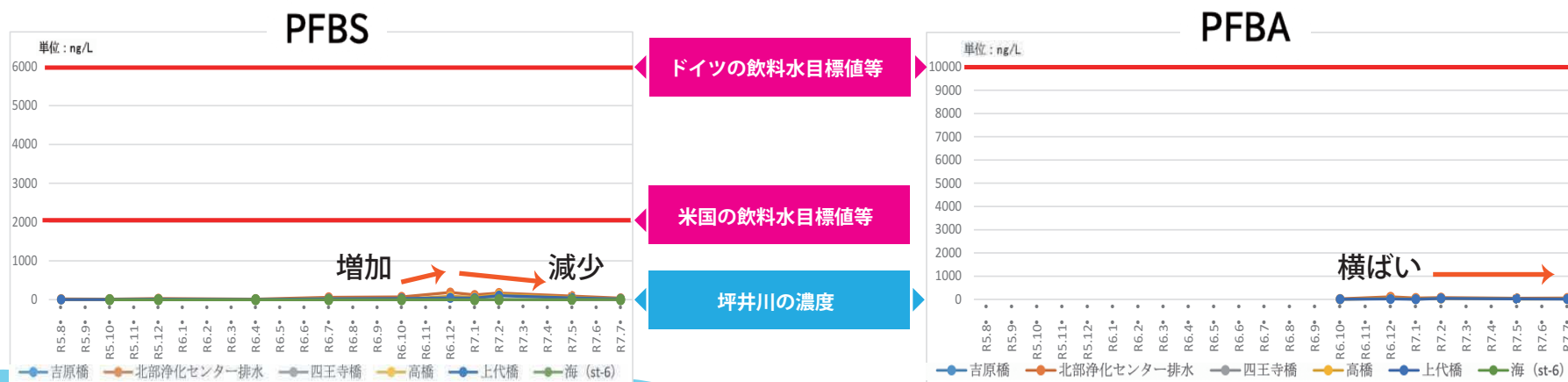
環境モニタリングのウェブページはこちらから

<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/51/186486.html>

熊本の地下水や河川の水質は、半導体工場の本格稼働後に
多くの物質で明確な変化はなく、安心できる状況です！

唯一変化があった坪井川の有機フッ素化合物（PFBS・PFBA）濃度は、
海外の飲料水の目標値等よりもはるかに低い！

PFBS、PFBAの濃度がわずかに上昇しましたが、現在、濃度は減少、横ばいに転じています。



坪井川のPFBS・PFBA濃度は、
低い水準で推移

そして

PFBS・PFBAの処理を
さらに高度化した企業も！

現時点で、PFBS・PFBA濃度が、
継続的に上昇する可能性は低いと考えられ、
安心できる状況です！

令和7年10月31日熊本県地下水保全推進本部会議資料より